

2020.4

事務局 (地独) 京都市産業技術研究所 デザインチーム (担当:比嘉,竹浪,木戸)  
kyotonokogei@tc-kyoto.or.jp  
https://www.facebook.com/kyotonokogei/  
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91  
TEL:075-326-6100(代表) FAX:075-326-6170(代表)

# No.20 京都工芸研究会便り

トークセッション「工芸な人々」Vol.2後編 令和2年度に開催します  
2/26(水)に開催を予定していたトークセッション「工芸な人々」Vol.2後編は、新型コロナウイルスの影響で、延期とさせていただきます。直前の判断・連絡となり、参加を予定されていた皆様にはお詫び申し上げます。令和2年度の出来るだけ早い時期に再度企画、開催していきたいと思っております。

## 京都の工芸 これまでとこれから(1)

### ～大塚正洋委員長

事業企画チームと事務局では、トークセッションを企画する中で、パネラーの方々から、それぞれの仕事のこれまでとこれからについてヒアリングを行いました。貴重なお話でしたので、ご了解を得て「京都の工芸 これまでとこれから」として紹介させていただきます。



大塚正洋委員長

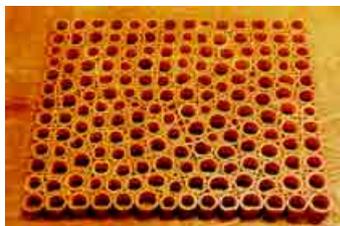
#### ●東洋竹工のこれまで

竹材業をはじめたのは、明治時代。そこから加工部門を昭和34年に独立させました。先代である父は一度サラリーマンを経験した後、家業に戻ってきたのですが、「他と違うことをやらなくては面白くない。なにを作ろうか。」と考え、海外へ打って出ようと思い立ったんですね。1960-70年代に輸出部門を開設して、事業を展開しました。「東洋竹工」という社名の由来は、東洋にしかない竹を西洋へ紹介するためという思いを込めているんです。

#### ●海外輸出の取り組み

当時、京都でも海外輸出が取り組まれていて、神戸、横浜などでは輸出向けの見本市が開催されていました。この時、細竹の輪切りを合わせてプレートを作りました。「バンブーレース」(写真1)と名付けて、テーブルトップ、コースター、インテリア、フラワーベースなどを色々作りました。これが、フランスをはじめ、イギリス、アメリカなどへ輸出され、よく売れました。主な取引先はデパートでした。デパート問屋がいて、卸して取引をしたんです。存命なら95才の父は、商業高等学校で英語を学んでいて、輸出のやりとりが直接できたんです。昔の人はそのくらい当たり前の感じで働いてましたね。

10年前まで輸出取引はありましたが、今はほとんどなくなってしまいました。なぜか。新しい外貨決済の対応が遅かったことが大きいです。そうこうしているうちに、技術レベルや供給量も上がってきた中国やベトナムなどの産地に決まってしまったのです。これまでにインド洋のリゾート開発で竹の資材の受注があったのですが、そんな問題もあってうまくいかなかった。残念なことです。この先、たぶん、よほどのことがないかぎり、そんな受注の機会は戻ってこないだろうと思います。



(写真1) バンブーレース

#### ●京都の技術の課題は

京都の工芸は製作技術が完成されています。また、お客様と相談しながら作る、つまり受注してから作るのが普通で、それが昔ながらのやり方です。一方、他の産地は、工芸としての技術が京都に及ばなくても、マーケットリサーチし、顧客ニーズを聞いて数を作っていくのです。そうしているうちに技術レベルをあげてきています。その結果、厳しいことをいえば京都は技術的にも追いつかれ、追い越されているところもあるのではないのでしょうか。

また、京都の作り手に仕事を依頼する人々(例えば茶の湯の先生とか)が少なくなってきている。そして、ライフスタイルの変化もあります。さらに深刻なのは、素材の確保です。竹林を管理できる後継者がいないという問題があります。

●基本は「一般の人に使ってもらえるもの」を

「竹で出来ないものはない」というのがモットー。そして、今までにない物、「世界初」「日本初」を目指しています。

「竹すべり」(写真2)というネーミングで建具用レール開発して実用新案出願したりといろいろやりました。竹の照明器具を作ったり、また産技研と協力して「Bamgoo」(写真3)という小型自動車も作りました。工芸と工業の技術を組み合わせるのは大変苦勞するけれども、チャレンジしています。一方で、昔あったものを違う用途へ展開する手法もあります。竹の箔箸をICチップ組立作業用のピン



商品・試作品の数々。東洋竹工にて。

セット(写真4)に転用したのがその一例です。これは静電気を逃がす特性を生かしたものです。

基本的に「一般の人に使ってもらえるもの」を作る。とにかく工芸の裾野を広げることが大切です。しかし、いろんなチャレンジをしていますが商品として完成するには5年10年と時間がかかりますね。

もともとたくさんは作れないのですから、「ちょうどいい数の注文に対応する。いいものをちょうどいい数だけ作る。」つまり、数が作れないことはマイナスとは考えない。そんなものづくりが一つの理想だと思いますし、京都にもあっているのではないかと思います。(2019.11.20 ヒアリングより事務局がまとめました。)



(写真2)「竹すべり」パンフレット



(写真3) Bamgoo



(写真4) ICチップ組立作業用の竹ピンセット

## 令和元年度伝統産業技術後継者育成研修 漆工コース修了式 3/11(水)

■去る3月11日、令和元年度伝統産業技術後継者育成研修の修了式が執り行われました。

漆工コースは6名が修了しました。新型コロナウイルス感染拡大の懸念もあり、マスク姿も多い式でしたが、一年を通して頑張ってきた研修生たちの目は輝いていたように思います。このさなかにご臨席いただいたご来賓の方々に、感謝を申し上げます。

また、修了作品展も延期とさせていただきますため、一年間の成果を披露する場がなくなってしまったことは、研修生そして指導講師の皆様にとりましても、とても申し訳なく、残念な状況となっております。

しかし、あくまで”延期”であり、時期を見て開催する予定ですので、コロナの心配もなくなって晴れやかな気持ちの中で、より一層盛大な作品展を催したいと考えます。その節にはあらためてご案内申し上げます。



### 事務局より

○2020年4-7月の主な予定 (延期, 中止の可能性あり)

- 4月中旬 事業企画チームミーティング(1)  
以後2ヶ月に1回程度開催
- 5/21(木) 18:00~20:00 竹編組勉強会(1) (予定)
- 5月末 第1回委員会
- 6/18(木) 18:00~20:00 竹編組勉強会(2) (予定)
- 6月下旬~7月上旬 令和2年度総会(予定)

☞京都市産業技術研究所フェイスブックページ  
<https://www.facebook.com/tckyoto/>

<会員消息>

- 退会(敬称略)~長きにわたりありがとうございました。  
彫金工芸 水谷醒洋(銕金)(2020.3)  
竹工房とよ 豊立勝二(竹工芸)(2020.3)  
海峰窯 八木海峰(陶磁器)(2020.3)

つぶやいていいですか。

先日、家の玄関前にあるサルスベリの木を剪定を行いました。大きく育ちすぎて隣地へはみ出していたので、梯子を立て、登って鋸で枝を落とす作業を1時間。さっぱりと綺麗になったのですが、その後左目に異物感があり眼科を受診したところ木屑が目刺さっていました。作業する際は億劫でも保護具もきちんと、ということを改めて実感。目にも財布にも痛い勉強代でした。(き)